

総務文教常任委員会

委員 長 忠之
副委員 長 修
委員 橋部 初郎 肇代 男 吾一
委員 高岡 滝谷 三 幸富 信新
委員 松本 岡森

財産の取得について

(水槽付消防ポンプ自動車)

問 入札にあたり、業者選定のプロセスについて伺いたい。

答 本市物品売買競争入札参加資格者名簿に登録され、営業種目が消防、保安用品の中の取り扱い種目が消防車両の業者であり、かつ社団法人日本消防ポンプ協会会員、または協会会員の代理店になっていること。そしてメンテナンスのことを考慮して関東エリア内に本社が営業所、またはサービス工場を有すること。過去5年間に官公庁への納入実績があること。本市物品の買入れ等の契約に係る指名選定基準を満たすこと。以上の点を審査する。(所管課・契約室)

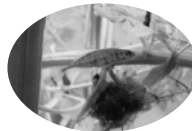
問 平成22年度熊谷市一般会計補正予算(教育費)について

問 小学校施設整備事業について、工事の内容について伺いたい。

答 4月に開設した妻沼小学校の通級指導教室の教室改修等をするもので、教室を、子どもたちの教室、教師が事務をとる部屋及びマジックミラーを設

置し保護者が教師の指導方法を学んだり、待機するための部屋を3つに仕切る工事をしたりして、発達障害のある子どもたちの気が散らないように教室を締め切りするための空調設備の整備等をするものである。(所管課・教育総務課)

問 △サシトミヨを熊谷市の魚に選定することを求める請願



答 請願文書中、希少生物という表現があるが、国や県ではムサシトミヨをどのように捉えているのか。また、県と市の役割分担について、両者で交わした覚書にはどのように記載されているのか、伺いたい。

答 国では、平成3年に環境省レッドデータブックに掲載されており、県では平成12年に埼玉県希少野生動物植物種に指定されている。また、県と市との覚書には、県の役割として、県の魚ムサシトミヨの生息に必要な水源を確保し、水源確保に要する費用の負担は県が行うものとする。市の役割としては、ムサシトミヨの保護・啓発などの事業を行うことになっている。(所管課・環境政策課)

福祉環境常任委員会

委員 長 三 千夫
副委員 長 邦 陽
委員 吉原 久保 夫
委員 大久保 清次
委員 新井 真 佐
委員 林 泉 二
委員 三浦 一
委員 松浦 紀
委員 須永 宣延

平成22年度一般会計補正予算(民生費)について

問 地域子育て支援拠点開設準備等支援事業として、立正大学と奈良保育園の事業で、総額1,099万8,000円ということであるが、事業の規模と内容について伺いたい。

答 1,099万8,000円のうち、立正大学の改修工事費補助として、1,000万円。残りの99万8,000円は、奈良保育園の備品購入等の事業である。立正大学の子育て支援センターの規模としては、約200平方メートルの部屋を改修し、支援拠点として整備すると大学側から伺っている。(所管課・こども課)



子育て支援センターが整備される立正大学

熊谷市ペット霊園の設置の許可等に関する条例

問 既存のペット霊園については、許可を受けたものとみなすということであるが、既存のペット霊園が、この条例における要件を必ずしも満たしているとは言えないと思われる。この条例ができた段階で、条件に合っていない部分について、条件に合うよう改善を求めるべきではないかと思うが、この点についての考え方はどうなっているか伺いたい。

答 既存のペット霊園の取り扱いについては、熊谷市ペット霊園の設置の許可等に関する条例の附則の経過措置において規定している。「条例の施行の際、現にペット霊園を設置している者は、許可の基準に適合するよう努めなければならない」という努力目標として位置付けている。例えば、緑地割合の基準を適合させるのは、厳しいものがあるが、できる限り、基準に近づけるよう努力してくださいというような指導を行っていくことになる。(所管課・環境衛生課)

市民産業常任委員会

委員長 茂実 勝
 副委員長 杉田 昇
 委員 原 健秀 秋宏 兵衛 雄雄 芳雄 みる
 委員 栗原 賀崎 新井 岡田 杉井 松井 くら

平成22年度一般会計補正予算
 (衛生費) について

問 予防接種事業のうち日本脳炎予防接種について、3歳児の子どもたちに接種するものことだが、その内容、対象人数及び個人負担について、伺いたい。

答 これまでの5年間は積極的勧奨を差し控えていた。今年度は、第1期の対象者について積極的な勧奨の再開となったが、一度に接種することになるとワクチンの量が不足するため、3歳児を優先的に接種することとした。また、第1期初回接種の対象人数は、1回目が6,304人、2回目が6,608人の合計1万2,912人であり、個人負担については、3歳から7歳半までの間に接種すると市の補助で接種できることになる。また、1回の接種料については8,413円である。



(所管課・母子健康センター)

平成22年度一般会計補正予算
 (農林水産業費) について

問 水田効率利用条件整備事業について、事業採択が見込まれる組合及び補助の内容について、それぞれ伺いたい。

答 事業採択が見込まれる組合は、御正第三機械化組合及び成沢大豆生産組合である。補助の内容については、御正第三機械化組合は導入するコンバイン1台に対して補助するものであり、成沢大豆生産組合については、大豆選別選粒機、自動計量機、それぞれ1台に対し補助するものである。



コンバインでの稲刈り

(所管課・農業振興課)

都市建設常任委員会

委員長 和浩 智子
 副委員長 大嶋 美智子
 委員 木村 正一 井藤 恒夫 新加 道夫 田島 貢 松本 市郎

平成22年度一般会計補正予算
 (土木費) について

問 グリーンニューデイル道路照明灯LED化事業において、鎌倉町で実施する理由について伺いたい。

答 商店街で通行量の多いところをLED化することで、その効果を広く市民にアピールでき、またグリーンニューデイル基金の採択要件を満たす路線が鎌倉町通りである。



鎌倉町通り

平成22年度熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について

問 3款県支出金第1項上之土地区画整理事業県補助金とあるが、この補助

金の対象路線はどこか伺いたい。
答 上之土地区画整理事業市内の県道で、都市計画道路熊谷谷郷線である。

(所管課・土地区画整理中央事務所)
 ムサシトミヨの生息する元荒川流域の下水道整備を行うことを求める請願について

問 下水道を整備する場合、その計画はどのようになるのか、伺いたい。

答 いま認可を受けている整備区域の整備が進まないこと次の認可拡大は難しい。5年後の認可変更で拡大区域に入れていきたいと考えているが、久下小までの左岸側及び右岸下流は調整区域であるため、全体の約4分の3の区域は、合併浄化槽を入れる以外に方法はない。

(所管課・下水道課)



元荒川流域